

# 宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 平成30年1月23日(火) 午後6時00分 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

## 会 議 日 程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 会期について

日程第3 報告

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(教育委員)

教 育 長	岸 本 文 子
教育長職務代理者	加 賀 爪 毅
委 員	金 丸 公 一
委 員	中 筋 斉 子
委 員	小 山 栄 子

(出席職員職氏名)

部 長 兼 副 部 長	伊 賀 和 彦	参(生涯学習課長兼生涯学習センター所長)	藤 原 千 鶴
教育支援センター長	瀬 野 克 幸	教 育 総 務 課 長	縄 手 弘
学 校 教 育 課 長	富 治 林 順 哉	学 校 教 育 課 副 課 長	三 村 敦
生涯学習課副課長	前 田 暢		

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長	加 藤 冬 子	教 育 総 務 課 主 事	奥 田 峻 也
-------------	---------	---------------	---------

開 会 (午後6時00分)

教育長より、本日の会議に傍聴の申請があり、許可した旨の報告がある。

**開会宣言** 教育長が1月教育委員会定例会議の開会を宣言する。

**日程第1** 会議録署名委員の指名について

教育長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、小山委員を指名する。

**日程第2** 会期について

教育長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

**日程第3** 報告

- (1) 文教福祉常任委員会について(平成29年12月22日)
- (2) 文教福祉常任委員会について(平成30年1月11日)
- (3) 宇治公民館の閉館について
- (4) 第25回市民まなびの集い「宇治まなびんぐ2018」の開催について
- (5) 議会会派要望について
- (6) 要望書等について
- (7) 宇治市教育委員会後援事業について

以上7件を報告する。

---

[説明]

**(1) 文教福祉常任委員会について(平成29年12月22日)**

議案第87号 宇治市立学校設置に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて

幼稚園の廃園に関する条例の案件である。文教福祉常任委員会は22日午前9時に開会し、主な質疑では「方針の変更であるのに、なぜパブリックコメントを実施しないのか。」等の議論・質問が長時間行われ、午前11時25分に質疑が終了した。

休憩後、大河議員からは継続審査の要求があり多数決を行ったが、賛成起立が少数だったため、継続審査は否決された。また、大河議員からの反対の討論があった。

議案の採決だが、原案とおり可決すべきとする賛成の議員は、民進党・自民党・無所属の各議員が起立多数であったため、原案とおり可決された。

宇治公民館の閉館について

**(2) 文教福祉常任委員会について(平成30年1月11日)**

宇治公民館の閉館について

第2次学校施設整備計画について

本件は、平成20年2月に策定した同計画の取り扱いについて、平成30年1月11日に開催した文教福祉常任委員会において、報告したものである。

内容としては、国から、平成32年度までに策定を求められている「学校施設の長寿命化計画」には、施設改修の周期や長寿命化改修などの内容を含むことが求められていることから、現時点で新たな施設整備の方針を策定するのではなく、「学校施設の長寿命化計画」策定時に改めて整備・改修内容等を定めるものとし、それまでの間、第2次学校施設整備計画の期間を延伸するものである。

報告資料には、平成20年2月に策定した「第2次学校施設整備計画」と、概ね全体の8割程度進捗していることを報告した「施設整備の進捗状況」を添付している。

「宇治市いじめ防止基本方針」に基づく重大事態の報告について

### (3) 宇治公民館の閉館について

文教福祉常任委員会では12月22日と1月11日の2回に分けて宇治公民館の閉館についての質疑応答を行った。その中で、宇治公民館の利用者説明会の開催が平成29年12月22日の午後であったため、12月22日の文教福祉常任委員会以後の出来事であると説明を行った。

利用者説明会の概要について、平成29年12月22日午後、今年度宇治公民館登録サークル36団体及び今年度利用実績のある社会教育関係団体等34団体を対象に宇治公民館の利用に関する説明会を開催した。

宇治公民館を閉館する理由、閉館までのスケジュール、利用者意向調査等について説明をした後、質疑応答を行った。

主な質問事項を大きく2つに分類すると、1つ目の宇治公民館の閉館については、「閉館をいつ決めたのか。」や「延長交渉はできないのか。」と厳しい質問であった。2つ目の利用調整については、「サークル活動は、今後実際に続けられるのか。」と具体的な内容に関するものであった。

他にサークル以外の団体からは、「サークルばかりではなく社会教育関係団体も活動を行っていることを理解しているのか。」との質問があった。

今後のスケジュールについては、意向調査を集約した後、希望に沿うように調整を行う考えである。現在は、利用調整の最中でサークルに関しては徐々に固めつつあるが、中宇治を基盤としてきた社会教育関係団体は、これから詳しく話をうかがい利用調整を行っていく考えである。

平成30年1月11日の質疑の中で、平成12年12月に行われた耐震診断の結果報告書についての言及があり、「宇治市公共施設の現状調査及び基本構想策定」の中から宇治公民館に関する必要部分を抜粋した資料と、平成13年2月の「宇治市公共施設整備計画」で示された宇治公民館耐震診断結果を抜粋した資料を添付している。

### (4) 第25回市民まなびの集い「宇治まなびんぐ2018」の開催について

「宇治まなびんぐ2018」は、平成30年2月3日(土)と4日(日)の2日間、宇治市生涯学習センターで開催する。開催形式は、市民参画をより進めた事業とするため、学習団体及び公募の市民による実行委員会を設置し、市民主導の事業となる。

出展内容については、日常取り組んでいる活動を来場者に発表し、一緒に体験するコーナーの出展等がある。例えば、工作教室、音楽や踊りのワークショップなど参加体験型の出展がメインとなっている。出展者は、2日間を通じて入れ替わりはあるが、42団体・個人があり、8団体の初出展者がある。ちなみに昨年度についての出展者は40団体・個人で、そのうち初出展者は2団体であった。

#### (5) 議会会派要望について

民進党宇治市会議員団、公明党宇治市会議員団より要望書の提出があった。

---

[質 疑]

[委 員] 学校施設の改修について今年度の実績状況を教えていただきたい。

[事務局] 平成29年度の具体的な取組は、大開小学校、南部小学校、木幡中学校でトイレライフライン改修を実施した。併せて、体育館の照明等の落下防止のための非構造部材耐震改修工事を実施したのは、槇島小学校、西小倉小学校、北宇治中学校、木幡中学校の2小2中である。

[委 員] 確実に改修は進んでいるのか。

[事務局] ひとつあたりの工事費が、2億円から3億円で多額の経費のため国庫補助金を含めた財源活用を最大限あげることにより、2小1中のペースで今後とも維持し進めていきたい。

#### (6) 要望書等について

2018年1月12日付で、全日本年金者組合 宇治・久御山支部より「宇治公民館・市民会館に関する意見及び要望」の提出を受けた。

---

[質 疑]

[委 員] 要望を提出している団体の質問に回答をしているのか。

[事務局] 団体からは文書での回答を求められているため、その方向で検討している。

#### (7) 宇治市教育委員会後援事業について

公益財団法人宇治市文化センター主催の交響吹奏楽団 Osaka Shion Wind Orchestra ほか10件、計11件の事業について後援した。

**閉会宣言** 教育長が1月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後6時30分)

宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、ここに署名する。

会議録署名委員  
宇治市教育委員会教育長

宇治市教育委員会委員